



富士山と茶畑

“日本の誇りと魂”に出会える 昇龍道4つのモデルコース Vol.2



昇龍道は実に多様で豊かな観光資源を有しており、まさに“日本の誇りと魂”が凝縮された観光エリアと言える。四季の自然美、祭りや食等の生活文化、ものづくりの伝統および最先端技術等を味わうことができるなど、ゴールデンルート（東京～京都・大阪）が有する東京のポップカルチャーや京都の歴史遺産等の観光資源とは大きく差別化ができる。

こうした魅力ある観光資源について、世界に向けてより一層分かりやすく、効果的に伝えていくため、昇龍道プロジェクトでは昨年4月に4つのモデルコースを策定した。外国人の幅広い観光ニーズに対応するべく、それぞれテーマ性・ストーリー性を持たせており、エリア内を長期に周遊してもらうためのプロモーションツールとして積極的に活用されている。

本特集では、3月号に引き続き、この4つのモデルコースについて紹介する。



コースコンセプト

Dragonコースは、日本列島のまんなかを南北に横断し、能登半島を頭とする龍がこのエリア最大都市の名古屋から天に昇っていく様子に見立てた「昇龍道の象徴的なコース」である。

名泉の誉れ高い下呂温泉や和倉温泉を楽しみつつ、山車・からくり等の祭りや刀鍛冶、金箔工芸などの伝統文化を感じられるなど、太平洋側から山岳地帯を経て日本海側へ抜ける変化に富んだ風光明媚な自然に加え、まち、食、文化を体験することができる。

主な対象市場は中国

中国市場は、昇龍道9県における宿泊者数が最も多く(図1)、かつこの5年間の伸び率が最も高い数値で推移している(図2)。中国本土と中部国際空港の就航便数も平成22年冬の75便から130便、就航都市数は11から24と大幅に増加している(図3)。また、この市場では、ショッピングの他に、温泉・日本食や四季折々に魅力のある自然・景勝地が好まれる(図4)。

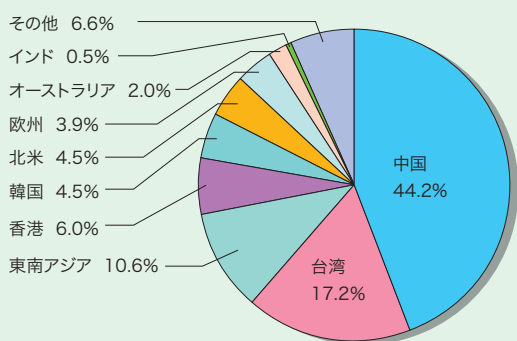
Dragonコースで人気のグルメ



左上：ひつまぶし(愛知県)、右上：飛騨牛(岐阜県) 左下：白えび(富山県)、右下：加能ガニ(石川県)

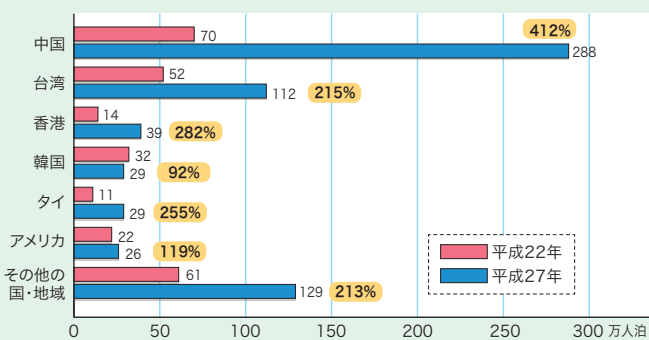
雄大な自然と温泉、グルメ、伝統文化、ショッピングエリアを有するこのコースは、市場の嗜好と一致する。台湾や香港からの旅行者に次いでリピーター数の増加も十分期待できる市場であることから、継続的なプロモーションが必要である。今後、富裕層を対象とするショッピングを組み込んだツアーの造成に向けて、中国現地の旅行会社へのプロモーションや商談会が展開される。

図1 平成27年昇龍道エリア 外国人宿泊者の国籍別シェア



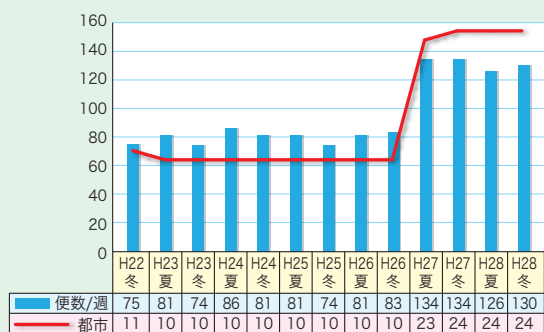
出所：観光庁2015年「宿泊旅行統計調査」 参考第1表

図2 昇龍道エリアにおける国・地域別の宿泊者数 (平成22年 vs 平成27年)



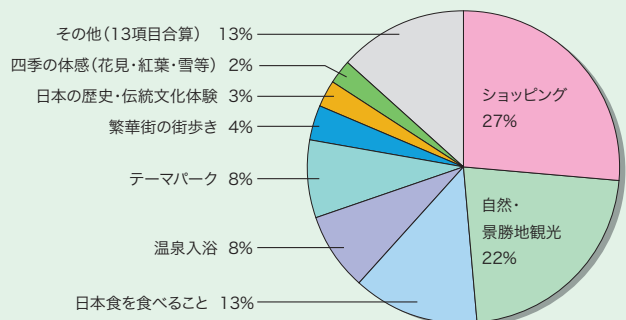
出所：観光庁2010年および2015年「宿泊旅行統計調査」

図3 中部国際空港就航の中国便数および就航都市数の推移



出所：中部国際空港(株)より提供

図4 中国市場の嗜好



出所：観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」 参考表9「訪日前に最も期待していたこと」

昇龍道 Ukiyo-E Course

ウキヨエコース

滋賀県



7【比叡山延暦寺】

岐阜県



6【関ヶ原古戦場】

愛知県



5【名古屋城】



静岡県



1【富士山】

静岡県



2【東海道広重美術館】

静岡県



3【浜松城】

愛知県



4【リニア・鉄道館】

コースコンセプト

近世に、江戸と京都を結ぶ東海道の53の宿場町の様子は、歌川広重の「浮世絵」に描かれ、西洋の印象派の画家たちに影響を与えた。Ukiyo-eコースは、戦乱の世を生き抜き、広重が生きた近世の日本に泰平をもたらした徳川家康を含む3人の偉大なサムライゆかりの城や古戦場を訪れ、近世の東海道を沿って走る新幹線や、ものづくり産業を体験できるコースである。

主な対象市場は欧米・タイ

欧米市場には、四季折々の魅力を持つ自然景観や日本の歴史・伝統文化体験が好まれる(図5・6)。また、滞在日数が中華圏や東南アジアと比べて長期間である(図7)とともに、初めての訪日旅行者の中で10日以上滞在期間を要する特徴的な市場でもある。東西に伸びるUkiyo-eコースと、南北に伸びるDragonコースをセットにするなど、滞在期間に合わせた旅

行ツアーの提案も有効と考えられる。今後は、戦国時代から現代にいたる経済活動の中心的な役割とものづくり文化の体感の他、農漁村等を活用した体験プログラムやテーマ性をもったコンテンツを活かした個人旅行者向けの情報発信が展開される。

タイ市場は、ASEAN諸国の中では観光・レジャー目的の訪日者が多く、リピーター割合も高いことから(図8)、今後の有望な市場といえる。また、四季の魅力を持つ自然景観やテーマパーク等も比較的好まれていることから(図9)、今後は訪日旅行者に人気の富士山その他、コース上に立地するサムライ・ものづくりをテーマとしたコンテンツの情報発信を中心にプロモーションが展開される。

図5 欧州市場の嗜好

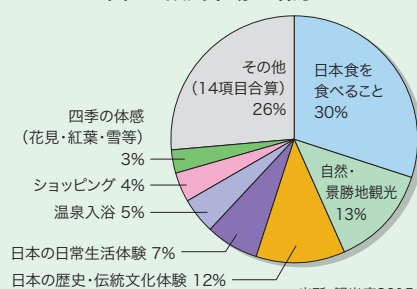
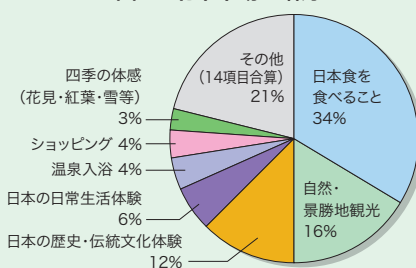
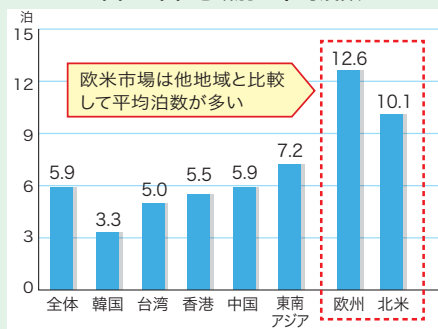


図6 北米市場の嗜好



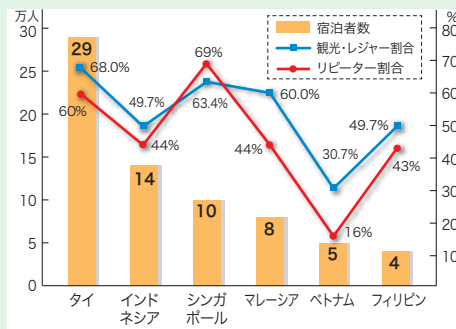
出所：観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」 参考表9「訪日前に最も期待していたこと」

図7 国・地域別の平均泊数



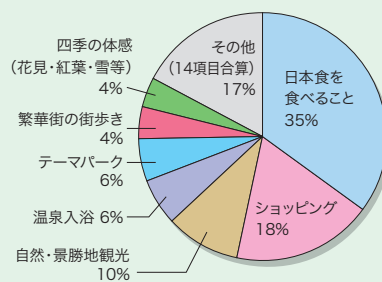
出所：観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」から抜粋
観光目的で訪れた外国人について各地域ごとの平均泊数を算出

図8 昇龍道エリアにおけるASEAN諸国の宿泊者他



出所：観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」および
観光庁2015年「宿泊旅行統計調査」

図9 タイ市場の嗜好



出所：観光庁2015年「訪日外国人消費動向調査」
参考表9「訪日前に最も期待していたこと」

昇龍道の魅力あるコンテンツ

山車・からくり街道

祭りに華やかさを添える「山車」は、山、鉾、屋台、曳山、だんじり等、地域によってさまざまな名称で呼ばれている。昇龍道エリアには、山車や、山車にからくり人形を乗せた「からくり山車」が数多く存在し、山車・からくりの宝庫といえる。平成28年12月に「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、登録対象の全国18府県33件の祭りのうち、16件が昇龍道エリア内にある。

この魅力を国内外に広く発信するため、山車・からくりの起源や祭りを紹介するパンフレットや動画を作成し、昇龍道の多言語Webサイトにも掲載している。今後は、身近に触れてもらう機会を一層増やすため、祭りの開催時期以外でも楽しめる体験プログラムの造成等を積極的に進めていく必要がある。

ユネスコ無形文化遺産の「山・鉾・屋台行事」

青森県	八戸三社大祭の山車行事	愛知県	尾張津島天王祭の車楽舟行事
	角館祭りのやま行事		知立の山車文案とからくり
秋田県	土崎神明社祭の曳山行事		犬山祭の車山行事
	花輪祭の屋台行事		亀崎潮干祭の山車行事
山形県	新庄まつりの山車行事		須成祭の車楽船行事と神葎流し
茨城県	日立風流物	三重県	鳥出神社の鯨船行事
栃木県	烏山の山あげ行事		上野天神祭のダンジリ行事
	鹿沼今宮神社祭の屋台行事		桑名石取祭の祭車行事
埼玉県	秩父祭の屋台行事と神楽	滋賀県	長浜曳山祭の曳山行事
	川越氷川祭の山車行事	京都府	京都祇園祭の山鉾行事
千葉県	佐原の山車行事	福岡県	博多祇園山笠行事
富山県	高岡御車山祭の御車山行事		戸畑祇園大山笠行事
	魚津のタテモン行事	佐賀県	唐津くんちの曳山行事
	城端神明宮祭の曳山行事	熊本県	八代妙見祭の神幸行事
石川県	青柏祭の曳山行事	大分県	日田祇園の曳山行事
岐阜県	高山祭の屋台行事		
	古川祭の起し太鼓・屋台行事		
	大垣祭の軸行事		

昇龍道エリア 4月開催の山車祭り

岐阜県 高山市	春の高山祭 (高山祭の屋台行事)	愛知県 犬山市	犬山祭 (犬山祭の車山行事)
日程	4月14日(金)・15日(土)	日程	4月1日(土)[試楽祭] 2日(日)[本楽祭]
祭礼場所	日枝神社	祭礼場所	針綱神社
岐阜県 飛騨市	古川祭 (古川祭の起し太鼓・屋台行事)	滋賀県 長浜市	長浜曳山祭 (長浜曳山祭の曳山行事)
日程	4月19日(水)・20日(木)	日程	4月13日(木)～16日(日)
祭礼場所	気多若宮神社、気多若宮神社の氏子地域、起し太鼓の里広場(飛騨古川まつり会館前)、古川町市街地	祭礼場所	長浜八幡宮



春の高山祭